国保料納付が優良な成績の54団体、15人を表彰

市では、国民健康保険料の完納や優良な納付成績をあげた団体、個人に、さる七月十四日、表彰状と金一封を贈りました。当日は、表彰式に統いて取纏組合長会議を開き、今年度の国保料精算賦課の内容説明や意見交換を行い、国保料の完納について一層の協力をお願いしました。

なお、表彰を受けられた団体、個人は次のとおりです。

（敬称略）

■町内…本町二・一区すずらん会、本町二・二区取纏組合、本町三・一区婦人会取纏組合、本町三・三区婦人会取纏組合、本町四婦人会、新町婦人会、金沢町二婦人会、柄目木婦人会、上山谷婦人会（山谷町二）、美幸町内会、新栄町婦人会、古田婦人会、善道町二婦人会、善道町二婦人会、下興野町納税組合、中沢婦人会、田家三婦人会、滝谷本町婦人会、東金沢部落会、大安寺取纏組合、満願寺婦人会、七日町婦人会、大蔵婦人会、川口婦人部、福島婦人会、四ツ葉会（荻島二）、三津屋婦人会、長割取纏組合、古津婦人会、金津婦人会、塩谷婦人会、睦見会（朝日）、浦興野青年会、出戸婦人会、蕨曽根若妻会、大秋婦人会、川根婦人会、野方婦人会、大関婦人会、岡田農協婦人部、下新農協婦人部納税組合、市新農協婦人部、金屋農協婦人部、新郷屋取纏組合、七日町第十五組取纏組合、中関納税組合（草水町一）

■一部組合…川口納税組合、結納税貯蓄組合、結納税取纏組合、荻島納税組合、浦興野納税組合、中野納税組合、八千代納税貯蓄組合

■個人…松田ミヨシ（小口）、高橋敬子（日宝町）、小田紀美子（金沢町四）、木村ヒサ子（新金沢町）、斎藤サチ（飯柳）、吉沢伊三郎（山谷町二）、古川セツ（秋葉二）、佐藤トモ子（秋葉二）、石津春子（草水町二）、村田ノブ（草水町三）、拝野スズイ（田島）、阪井ヒサ（程島）、佐々木文子（南町）、柏木モト（覚路津）、渡辺ミヨシ（三枚潟）

成績優秀な団体・個人に表彰状を贈呈

八月十日は「道の日」道の重要性を考えましょう

今から六十六年前の八月十日（大正九年）、日本で最初の近代的道路整備の長期計画「第一次道路改良計画」が実施されました。

この日を記念して、建設省では、今年から八月十日を「道の日」と定めました。

六十六年の歳月で、日本の道路はかなり拡充、整備されてきましたが、モータリゼーション先進国といわれる欧米諸国に比べると、まだまだ質量ともに遅れをとっています。

例えば、都市内で、都市計画法に定められた計画どおりにできあがっている道路は、まだ三九・八％にすぎません。

今後、ますます進む日本の〝車社会〟――それを支える〝道〟の重要性をいま一度考えてみてはいかがでしょうか。

毎月勤労統計調査にご協力ください

労働省では、七月三十一日現在で常用労働者が一人から二十九人の事業所を対象に、「毎月勤労統計調査特別調査」を実施します。この調査は、事業所における賃金・労働時間および雇用の動向を明らかにするもので、結果は、これらの事業所に働く人たちのため、諸施策の基礎資料になります。

八月中旬から調査の対象となる事業所には、統計調査員がお訪ねします。ご協力をお願いします。

なお、調査した個々の事実は、税金関係など統計以外の目的に使用することはありません。

□調査区域…本町二の一部、善道町二

くわしいことは、県企画調整部統計課（☎0252―85―5511）へお問い合わせください。

児童扶養手当の現況届の提出を忘れずに

児童扶養手当受給者は現況届を提出してください。

□持参するもの…手当証書、世帯全員の住民票の写し、戸籍、申立書など（受給理由によって異なります）、印鑑

また、特別児童扶養手当受給者は所得状況届を提出してください。

□持参するもの…手当証書、身体障害者手帳、療育手帳、印鑑

□提出期間…八月十一日から二十日まで（用紙は社会福祉事務所にあります）

くわしくは、市社会福祉事務所（☎24―2111内線272）へおたずねください。

特別養護老人ホーム名称を募集します

関係市町村（新津市、五泉市、白根市、村松町、亀田町、小須戸町、横越村、津川町、鹿瀬町、上川村、三川村、田上町）では、六十五歳以上で介護を必要とする人のために、特別養護老人ホームを建設することになりました。そこで、この特別養護老人ホームの名称を次のように募集します。施設、位置、環境などを考えてご応募ください。

□建設予定位置…医療生活協同組合新津医療センター病院わき（古田六一三番地の一ほか）

□建設予定時期…昭和六十二年度（六十二年度オープン）

□予定ベッド数…百床

□施設の概要…鉄筋コンクリート造り（延約三千平方メートル）

□応募方法…官製はがき一枚につき、一名称で、はがきには、住所、氏名、年齢、電話番号を明記

□応募先、問い合わせ…八月三十日（土）までに特別養護老人ホーム建設準備事務局（〒956 新津市本町二丁目二番一号 市役所内 ☎24―2111）へ

※採用された人には、記念品を贈呈します。

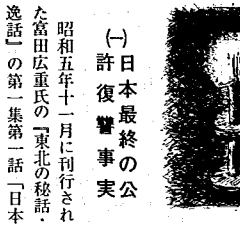
お買物、ご用命は市内で

♥手づくりのデリカ家♥
お母さん、
夏休みの食事はどうしていますか？
お困りのとき、
デリカ家にお立ち寄り下さい。
養生食品・ギフトセット・菓子
無公害洗剤・基礎化粧品
長崎屋1F デリカ家 ☎24―7936

荻川テニスクラブ
会員募集中
アンツーカーコート 2面
夜間照明，シャワー，ロッカー
駐車場完備
新津市福島195番地 荻川テニスクラブ
☎22―9455
荻川駅 至新津 当クラブ

幕末明治夜話 (124)

阿達義雄



(一)日本最終の公許復讐事実

昭和五年十一月に刊行された富田広重氏の『東北の秘話・逸話』の第一集第一話「日本最終の公許復讐事実」は、昭和期に出された石巻仙台系の久米復仇史談の代表的なものであり、その後出された佐藤露江氏著『万石湾頭の仇討』、吉田栄編『渡波町史』の中の「久米幸太郎の仇討」等に大なる影響を与えている。

それで、私は右の「日本最終の公許復讐事実」の中の要所を抄出して解説し、なお、この書が新発田系の久米復仇史談と異なる点については、後に「附注」として追記して研究者の参考に供したいと思う。

なお、前講の「幕末巡探三十年目」が久米復仇史談の最後の安政四年のことについて述べているのに対し、富田氏の書は、この事件発生の文化十四年十二月廿日夜の惨劇から、幸太郎が、本懐を遂げて目出度く新発田に帰る安政四年末の四十一年間の記録である。

ただ、それではかなり長文になるので、特に要所は原文の侭に示し、その他の個所はできるだけ本書に忠実に、しかも簡明に要約解説しようとするものである。

(二)富田本の総説

富田氏は、久米復仇史談の総説として、「祝田浜孝子の仇討」という小題目で次のように述べておられる。

「これは伝説でもなければ口碑でもない。講談に非ず小説にもあらで、しかもその経緯は小説より奇に、講談より興味深い波瀾に満なされた事実である。この物語の特殊性ともいうべき点は、

○日本に於ける公許復讐の最終の事実であること。

○主要人物の活躍舞台が日本全国にわたっていること。

○発端から終結まで四十一年の長歳月を要したこと。

○余り遠くない時代の出来事であるということ。

これ等の点において、恐らく日本の復讐史にその比を見ないと思われる。事件は今を去る百余年前、明治・維新の大革命を生み出そうとしている幕末、文化十四年丑年十二月二十日の雪の夜を発端に、安政四年丁巳十月九日九ツ刻（正午頃）に幕を閉じ、事件の主人公は明治廿四年二月五日まで生存し、その遺族は現に越後国新発田に栄えている。

事件の展開区域、つまり物語の背景というべき地域は、越後新発田に始まって、山形、秋田の裏日本から江戸を中心にした関東諸国、近畿関西地方、中国一円から四国九州に及び、更に北に飛んで蝦夷松前、津軽、南部を経て仙台地方に至り、ここに大団円を告げたものである。

異説四十一年目の敵討（I）

阿達義雄

何分歳月を閲すること四十ケ年、足跡全国に遍ねしという公許の復讐なだけに、越後の溝口侯、仙台の伊達侯、常州の水戸、豊前の小倉の小笠原といったような当時の諸大名をはじめ、江戸町奉行、幕府老中まで事件中に現われている。

しかも狙われた仇敵は唯一人であるが、これを探し廻ったものは、兄弟に兄弟の叔父、それに義僕を加え、あらゆる艱難を凌ぎ、根気を続くること三十年という世に珍しい物語である。

最終の場面である仇討の実況を目撃した人々の中で、高齢を保っている人が現存して、其当時の思い出を語っている。◉

青少年健全育成のためにキャンペーン

青少年健全育成にステッカーを掲示

7月20日から8月31日までは、「青少年健全育成強調月間」ですが、初日の20日には、「万引き防止、環境浄化」のキャンペーン活動として、商店街でステッカーの掲示が行われました。なお、キャンペーン活動に先立って、ステッカーに使用されている優秀標語の表彰も行われました。

(三)久米弥五兵衛の家庭

幕末文化の末、越後国新発田城主、第十代溝口伯耆守直諒に仕えて知行二百五十石、御小姓頭を勤めて評判の好い久米弥五兵衛盛昌という人物があった。盛昌は一名徳盛とも称し、温和正直な性質は御小姓頭兼御納戸役という役柄には打ってつけの適材であり、主君の覚えも良かった。

富田氏は、久米弥五兵衛の家庭について次のように記されている。

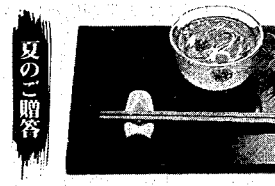
「弥五兵衛は、文化十四年四十一歳の分別盛り、女房操との間に長女おあさ（九ツ）、長男幸太郎盛治（七ツ）、次男盛次郎盛盈（五ツ）の一女二男と、外に妾腹の子弥六（三ツ）を加えて親子六人に忠実な藤助という仲間を加えて至極平和な月日を送っていた。

三男の弥六が妾腹の子であるというわけは、弥五兵衛が女房操を娶って三年を過ぎたけれども、一子も挙げ得なかったため、妾腹でもいいから後継者を得たいという女房からの勧めによって妾を持ったのだが、世間によくある意地張り子とやらの弊の通り、弥五兵衛が妾を持ったその年の秋、本妻操が長女を儲け、続いて長男次男と生れたところが、妾の方にも一男が生れ、これを弥六と名づけたのである。」（新潟大学名誉教授）

お買物、ご用命は市内で

本町4 チューリップ店会 お店紹介

夏のご贈答



「季節商品」

涼味 流れ梅

木漏れ日の碧渓
流れゆく涼風

創業安政元年
新潟 大阪屋
新津駅前店 TEL 22-1833
新津本町4丁目店 TEL 24-1347